

令和6年度 長崎県立島原商業高等学校 学校評価表（自己評価）

校 訓	礼節・友愛・創造
教育方針	全生寮教育を通して「自他一如の精神（心）」を養い、知恵と勇気と行動力を備えた人間性豊かな人材を育成する。 【全生寮本旨】 一、自己のうちに もてる全てを 発揮して 生きよう 一、全ての 他の人を 生かそう 一、全ての 人とともに 生きよう
教育目標	（１）商業および家庭に関する専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる生徒を育成する。 （２）思考力と判断力に基づく主体的な行動と自己管理ができる生徒を育成する。 （３）多様性を認め共生社会の担い手となる人権意識の高い生徒を育成する。 （４）仲間と切磋琢磨することで心身共に調和のとれた生徒を育成する。
生活信条	○挨拶（島商）しましょう。（心をつなぐ） ○掃除（島商）しましょう。（心をこめる） ○勉強（島商）しましょう。（向学心をもつ） ○部活（島商）しましょう。（心身を鍛える） ○奉仕（島商）しましょう。（思いやりの心をもつ）
キャッチフレーズ	～チャレンジ島商２０２４～ 自分のために 人のために
前年度の課題	（１）教員間での情報共有を徹底する。 （２）事務作業の効率化（ペーパーレスの推進）等により超過勤務の縮減に努める。 （３）新しい学力観や評価の観点に則した授業改善を行う。 （４）生徒指導提要に基づき、生徒を適切に指導する。 （５）生徒対応において、当該学級や学年任せにせずに職員全体の連携して取り組む。
重点努力目標	（１）基本的生活習慣の確立 （２）学力の伸長 （３）実践的活動の充実 （４）キャリア教育の推進 （５）地域に開かれた学校づくり （６）職員研修の充実 （７）組織力の向上
評価	４：十分達成している ３：おおむね達成している ２：どちらかというと達成されていない １：ほとんど達成されていない

【評価分野】 | 学校経営

番号	評価項目	目 標	中間	最終
1	学校教育目標	他の教職員とともに教育目標の実現に向け努力している。	3.1	3.3
2	学校経営方針	経営方針を生徒・保護者・地域等に示しつつ、自ら意識して教育活動を展開している。	2.9	3.0
3	重点努力目標	教育活動全般において、重点目標の達成に向け努力している。	3.1	3.3

【評価分野】 2 教育活動

4	教科指導	わかる授業実践のため工夫を行い、学習評価の基づく指導改善に努めている。	3.1	3.1
5	特別活動	生徒の主体的な活動を基盤としたHR活動や生徒会活動・学校行事を実践している。	3.1	3.1
6	生徒指導	全生寮教育を起点とする礼儀作法や容儀、コミュニケーション等について、また、生徒の安心・安全のため適切に指導している。	3.0	3.0
7	進路指導	進路情報の収集と一人ひとりの希望に応じた情報提供に努めている。	3.1	3.1
8	健康・安全・教育	健康・安全面についての正しい情報を与え、心身の健康の保持増進を促している。	3.2	3.2
9	人権教育	人権教育を通し、生徒の人権意識の醸成に努めつつ、自らはカウンセリングマインドを持って生徒に対応している。	3.1	3.2
10	特別支援教育	特別支援教育関連研修等を通し、支援体制の強化や指導力の向上に励んでいる。	2.9	2.8
11	部活動	部活動指導ガイドラインに沿った計画的な指導を行い、部活動の活性化を図っている。	3.0	2.9

【評価分野】 3 組織運営				
12	校務分掌	分掌間の連携を図り、学校全体の校務の推進に努めている。	3.1	3.1
13	各種委員会	各種委員会での協議結果を、教育活動や学校経営に生かしている。	2.9	2.9
14	校内研修	職員研修に積極的に参加し、教育活動に生かしている。	3.0	2.9
15	教職員教育	各種公的研修会へ積極的・計画的に参加し、資質の向上と意識改革を図っている。	2.6	2.8
【評価分野】 4 教育環境				
16	学校環境の整備	生徒とともに積極的に清掃活動に取り組んでいる。	3.5	3.5
17	施設・設備の管理	担当する施設・設備の安全管理と経費の節減に努めている。	3.2	3.3
18	情報インフラの整備・充実	校務処理や情報発信に効果的に情報機器を活用している。（校務事務支援システム、Teams、Forms、CMS、SNS等）	3.0	3.0
【評価分野】 5 開かれた学校づくり				
19	保護者との連携	保護者に対し積極的に情報提供を行っている。また、PTA活動に積極的に参加している。	2.8	3.0
20	地域や関係機関との連携	他校との連携や外部講師の活用、地域行事への参加等を通し、地域や関係機関との連携を深めている。	3.0	2.8